

事業No.	5	事業名	生涯学習センター(公民館・図書館)の運営		担当課	生涯学習課 図書館	
仕分け結果							
廃止		民営化		市(要改善)	3	市(現行どおり)	5
主な意見(委員)							
<p>【市(現行どおり)】— 多数意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営には経験が必要とのことで、経験のある市職員や会計年度任用職員を活用してサービスの維持が確保されている。指定管理者導入は、常に市と情報交換をすることが必要であり、大きな課題であると考える。 ・様々なことに市として努力していると思うため、改善すべき点は見えない。 ・指定管理者制度は、専門的な人材の確保が難しいと担当課はいうが、雇用されている人を優先的に再雇用するなどして契約の際に担保をとればよい。そうすれば、能力も向上していくので一概にデメリットとはいえない。公民館は、災害時に市民の避難所として活用するもので、その際市職員がいるべきであり、若干の余剰があってもいい。 ・全国的に指定管理者制度導入の実態はある。その結果に賛否両論がある。概ね図書館は成功していない例が多い。蔵書管理は知識、継続性が必要。時代は変わっているのだから、中長期的視点で、あり方を基本から考えることが必要ではないか。例えば世界中の鳥の蔵書があるなど何かに特化した、何か特徴的な図書館になればいいと思う。 ・図書館司書を専門職として市は採用している。直営が望ましいのではないか。生涯学習センターは、公民館・図書館の機能を有し、その範囲内で忠実に業務をしているが、都道府県のセンターのような機能、例えば学習相談コーナーとか学習機会の提供とかもう少し範囲を広げてもいいのでは。我孫子市として地域に見合った、地域に根差した社会教育施設を目指して、年に1回程度の市民を巻き込んだイベント開催等を期待する。 <p>【市(要改善)】— 少数意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設であることを生かした民間のノウハウを入れてもいいのではないかと。現在は、箱(建物)管理は民間委託、運営は市が行っているが、運営にも民間のノウハウが入ってもいい。公民館の部分だけ指定管理者制度ということも検討していいのでは。アピスタの中で物販販売があってもいいのではないかと。管理運営の財源確保策もいろいろ工夫してほしい。 ・図書館や公民館の利用方法も変化しているので、市民のニーズを見直すべきではないかと。多岐にわたる業務内容について、部分的には民間委託も検討し、市と民間事業者の役割を上手く組み合わせ、全体として市民サービスの向上に努めるべきだと思う。他の自治体の様々な実践を参考にしたい。 ・市民がどういうものを求めているか調査し、分析して新規事業を考えてもらいたい。図書館・公民館を利用していない市民の方にニーズが本当はないのか、どうすれば利用するのか、しやすくするのか、どんなイベントをすればいいのか、調査し改善してほしい。様々な業務の中で、委託できるものはまとめて外部へ委託し、それによりできた余裕を職員にしかできない仕事へ集中してほしい。 							
傍聴者の意見等							
<p>【傍聴者の意見・発言】</p> <p>なし</p>							
市の対応方針							
市対応方針	検討内容						
現行通り	<p>「社会教育法」に基づく公民館も、「図書館法」に基づく図書館も、いずれも法により営利を目的としない施設として位置づけられていることから、自由な裁量で収益を上げることはできません。</p> <p>現在、生涯学習センターアピスタでは、すでに、施設の管理、総合受付、清掃、警備、駐車場について民間に委託しておりますが、図書館、公民館ともに効率化を図るために、今後もアピスタ施設全体での指定管理者制度を含む民間活力の導入や業務内容の見直しなどを、継続的に検討していきます。</p> <p>公民館では、今後、自主事業を実施する際に、公民館の魅力をアップするために市民のニーズを把握して事業に反映させていきます。</p> <p>図書館では、令和3年10月から新しく購入した移動図書館車による学校巡回を開始しました。今後、移動図書館のステーションの配置や巡回時間などの見直しをして、新たな利用者層の掘り起こしをおこないます。さらに、「第2次子どもの読書活動推進計画」策定のために、令和4年度に児童・保護者へのアンケートを行いニーズを把握すると同時に、図書館を利用していない市民にも、図書館サービスを利用してもらえるように工夫していきます。</p>						